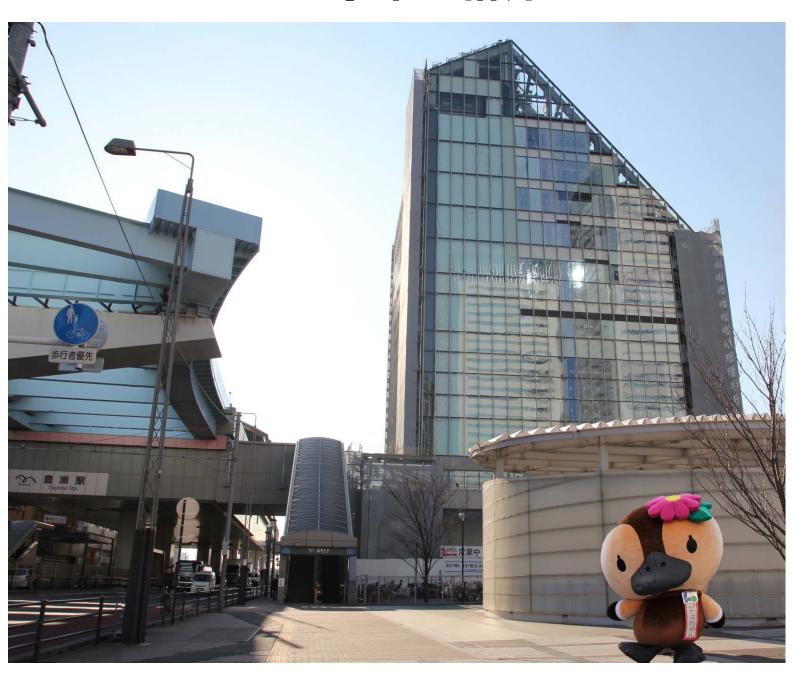
平成27年度江東区予算案 主な事業の紹介



みんなでつくる伝統、未来 水彩都市・江東



50万人都市・江東 魅力発信予算

本区は、近年、人口急増を続けてまいりましたが、いよいよ人口が50万人を突破いたします。また、5年後の東京オリンピック・パラリンピックでは、多数の競技が本区内で実施されるとともに、来年には豊洲新市場が開場するなど、本区をめぐる環境は大きく変化いたします。こうした大きな転換期にある本区では、様々な行政課題に的確に応えるべく、新たに長期計画の後期5ヵ年計画を策定いたしました。27年度はその第一歩となる年であります。今回の予算は、「50万人都市・江東 魅力発信予算」といたしました。



江東区長 山﨑孝明

内閣府の月例経済報告では、景気は、個人消費などに弱さがみられるが、緩 やかな回復基調が続いているとしていますが、区政運営を取り巻く環境は、依 然として厳しい状況にあることに変わりはありません。

本区特有の人口増加を要因とする保育所待機児童の解消や、学校の収容対策 は喫緊の課題です。この他にも防災対策、高齢者支援、観光・まちづくり、環 境対策、教育など、区政各般にわたり積極果敢な施策を展開するために、より 一層、効果的・効率的な行財政運営に取り組んでいく覚悟です。

平成27年度当初予算編成にあたっては、財政環境の厳しさを認識しつつ、いよいよ9月にオープン予定の豊洲シビックセンター関連整備事業等、長期計画(後期)の着実な実施を図ります。また、急増する保育需要に対応するため、認可保育所等を整備し、1,000人程度の定員を新たに確保します。学校の収容対策では人口が急増する南部地域に、地域開放型の区内45校目の小学校、豊洲西小学校を4月に開校します。さらに(仮称)第二有明小学校及び中学校を新設するための実施設計を行います。また、区内4つの小学校において校舎の増築を行い、こどもたちに良好な学習環境を提供します。

既成概念にとらわれない予算編成を行い、区民の皆さんが安全、安心そして 快適に生活できる、本区の魅力を充分に引き出した予算案となりました。

本区は人口の増加も続き、更なる発展を遂げる途上にある、全国的にも他に類を見ない元気にあふれた自治体です。私は50万江東区民が、世界に誇れる江東区であるために、オリンピック・パラリンピック成功のための準備はもちろん、その後も見据えた区政運営に、今後も積極的に取り組んでまいります。

目 次

Ι		平成	, 2 7	年	变予	算	案[= 1	つし	17	•	•	•	•	•	•	• •	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	1
	1	予	算編	扇成(の基	本	的	なま	きえ	方	•	•	•	•	•	•		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	1
	2	予	算規	模		•	•	•		•	•	•	•	•	•	•		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	2
	3	主	な事	業(の件	数	۽ ع	金客	頁・	•	•	•	•	•	•	•		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	2
Π		重点	事業	ۥ		•	•	•		•	•	•	•	•	•	•		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	3
Ш		主な	事業	(の)	詳細	1	3 2	項	目))																								
	1	防	災•							-			3,44	#->	#\ (1))																		
		1 —	1	[オリ 玄の)魅	力	をす	苍信	i !	ブ	ラ	ン	デ	イジ	ン	ブ単	比略	を	展	開	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	7
		1 —	2		(オリ 江東												リン	ノビ	。 ッ	ク	基	金	を	創	設	•	•	•	•	•	•	•	•	8
		1 —	3	ì	江東	区	中,	央队	方災	を倉	庫	が	完	成	•	•		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	9
		1 —	4	<u> </u>	豊洲	る	頭	内ク	見公	割等	(D)	管	理	運′	営り	こ~) V	って	民	間	提	案	を	募	集	•	•	•	•	•	•	•	1	0
		1 —	5	[日中]][Γ	ふオ	しあ	5V`	橋		の	ラー	1	トフ	アッ	ノフ	。照	明	を	整	備	•	•	•	•	•	•	•	•	•	1	1
		1 —	6	[区内	道	路(の無	無電	註柱	化	を	推	進	•	•		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	1	2
		1 —	7	[区内	道	路(こっ	メロ	1デ	・イ	_	口	_	ドる	を生	整備	盲•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	1	3
		1 -	8	Ē	共同	化	建	替に	こカ	ゝカ	る	助	成	を	開如	冶		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	1	4
		1 —	9	2	全国	初	!	自車	云車	エサ	イ	ド	121	ラ・	— (カヨ	E	- タ	·	実	験	を	実	施	•	•	•	•	•	•	•	•	1	5
		1 -	1 0) 3	建築	情	報	閲覧	覧シ	ノス	テ	ム	を	構	築	•		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	1	6
	2	子	·育て		教育	ī (5]	項目])																									
		2 –	1	<u> </u>	豊洲	栖	小星	学村	交の	体	育	館	棟	をす	地块	或~	<u>\</u> _	般	開	放	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	1	7
		2 —	2		(仮	称	()	第_	二有	手明	小	•	中	をき	新詞	没、	南	了陽	小	ほ	カュ	3 7	校	を:	増	設	•	•	•	•	•	•	1	8
		2 –	3	Ī	認可	「保	育	折0	り整	修備	jを	計	画	•	•	•		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	1	9
		2 —	4	Ī	認可	「外	保	育加	包設	して	認	可	•	小	規札	莫記	忍口	「保	育	所	^	の;	移	行	を	計	画	•	•	•	•	•	2	0
		2 –	5	J	セー	- IJ	ン	グタ	や 大	フヌ	_	体	験	を	通	して	て学	之校	復	帰	P	進	学	を	支	援	•	•	•	•	•	•	2	1
	3	健	康•	福	扯	(4	項	目)																										
		3 –	1	=	認知	症	ガー	イー	ドフ	ブツ	ク	の	作	成、	,	忍知	扣症	三力	フ	工	運	営	費	を	補.	助	•	•	•	•	•	•	2	2
		3 –	2]	重症	障	害」	児	(者	()	を	介	護	す	る	家加	友等	を	支	援	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	2	3
		3 —	3	[医療	きと	介言	護力	彭道	連携	; L	て	在	宅[医抗	寮を	と推	進	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	2	4
		3 —	4	/	生活	うに	お	困 !) T	方	·~	(D)	総	合	相言	淡溫	三芝	1を	開	設	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	2	5

4		緑	• •	眾均	竟	(4	項	目)																												
	4	_	1		2	2 3	8区	初	J !	燃	彩	電	泄	自	重	力車	<u>i</u> ((水	素	自	動	車	()	を	導	入	•	•	•	•	•	•	•	•	•	2	6
	4	_	2			门	「東	区	ン	二	. –	・ブ	° П	シ	ジュ	: ク	,		始	動	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	2	7
	4	_	3		7	下燃	たご	`H	を	·資	源	物	と	L	7	リ	サ	`イ	ク	ル	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	2	8
	4	_	4		爿	也下	鉄	駵	쀍	段	:12	ボ	1	揑	i T	. •	步	行	喫	煙	防	止	0	啓	発	シ	_	 	を	設	置	•	•	•	•	2	9
5		産	業	• <u>*</u>	_ , .	_	•		•	•																											
	5	_	1		Ď	乙南	州ショ部	地	域	$\mathcal{L}(\mathcal{O})$	拠	点	لح	か	2	5	豊	:洲	トシ	ビ	ッ	ク	セ	ン	タ		_	を	開	設	•		•	•		3	0
	5	_	2				Wシ 出										大		X	民	(T)	利	便	性	向	上	•	•	•	•	•		•	•		3	1
	5	_	3				シシを										を	·整	備	•	•			•	•	•	•		•		•			•		3	2
	5	_	4		2	2 (2	0	年	東	京	./\	パラ	IJ	ン	/ヒ	゜ツ	ク	12	江.	東	区	出	身	の	力	ヌ		選	手	を	靟	出	•		3	3
	5	_	5		亲	斤配)運	動	J場	けに	: 新	た	な	:サ	・ッ	力	ı —	·場	を	整	備	•	•	•		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	3	4
	5	_	6		佢	国人	番	:号	·カ	·	۱.	`を	利]用	l	た	:各	·種	証	明	書	(D)	コ	ン	ピ	=	交	付	を	開	始		•	•		3	5
	5	_	7			(仮	反称	;)	>_	. う	لح	う	若	者	٠.	女	性	i		ځ`	セ	ン	タ	_	を	開	設	•	•	•	•		•	•		3	6
	5	_	8		_		- }	•	U	き		ŧ	り	等	€ 0,)	渚	を	支	援	す	る	相	談	事	業	を	本	格	的	に	実	施	•	•	3	7
	5	_	9		爿	也垣	なの	誹	題	を	· 🗵	ح:	協	通	りて	*解	決	·	•	•	•	•	•	•		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	3	8
IV	資	į	料	糸	扁																																
1		歳	入	•	医出	ďσ)内	訴	ι.	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		•	•		4	1
2		各	·項	∄0	り打	生移	ξ.	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		•	•		4	2
	2	_	1	_	一舟	<u>고</u> 수	計	- ((子	算	規	l模	()	T)	推	飽	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		•	•		4	2
	2	_	2	方	遠フ	((特	:別	区	税	لح إ	特	:別	区	交	で付	金	:)	0)	推	移	. •	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	4	2
	2	_	3	方	复出	∐ø.	推	移		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	4	3
	2	_	4	禾	責力	Z差	金	ح :	特	別		債	(T)	瑪	在	言	j Ø	推	移	. •	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	4	4
3		歳	出	の排	71	川・	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	4	5
4		区	民-	ر ا	\ t	うた	<u>-</u> り	<i>(</i>)	平	成	. 2	7	年	度	意	走出	于	·算	죔	į •	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	4	6

平成27年度予算器について

50万人都市・江東 魅力発信予算

人口 50 万人となり飛躍を続ける江東区が、今後、オリンピック・パラリンピック開催、新市場開場、地下鉄 8 号線延伸などを控え、区外、世界へも更に魅力を発信していく予算

1 予算編成の基本的な考え方

く目指すもの>

- (1)人口急増による行政需要の増加だけでなく、豊洲新市場の整備や 2020 年オリンピック・パラリンピック東京開催への準備など行政課題が山積する中で、区民の負託に応えられる 50 万人都市としての第一歩と位置付けます。
- (2)新たな行政課題に対して、職員一人ひとりが柔軟な発想を持って創意工夫を凝らし、 様々な手法・アイデアを取り入れていくことにより、全庁一丸となって迅速かつ的確に 行財政運営を推進していきます。
- (3)景気動向に左右されやすい脆弱な歳入環境にあっても、行財政改革の着実な推進や事務事業の総点検により財政規律を堅持します。

<将来人口の想定>

江東区長期計画では、将来人口を次のとおり想定しています。

将来人口(単位:千人)

	現況	推計(平成31年度)
人 口	494	521
(うち外国人住民数)	(23)	(24)

(注)現況:住民基本台帳人口及び外国人住民数人口(平成27年1月1日現在) 平成31年度:推計値(1月1日現在)

く行政評価を予算に反映>

950の事務事業について、目的妥当性、有効性、効率性の観点から行政評価を行い、 平成27年度当初予算に反映させました。

2 予算規模

区分	平成27年度	平成26年度	比較増減	増減率
一般会計	1, 767 億 6, 900 万円	1, 743 億 1, 900 万円	24 億 5, 000 万円増	1.4%増
国民健康 保険会計	633 億 600 万円	539 億 4, 600 万円	93 億 6,000 万円増	17. 4%增
介護保険 会 計	300 億 6, 300 万円	293 億 4, 700 万円	7億1,600万円増	2.4%增
後期高齢者 医療会計	81 億 2, 700 万円	77 億 8, 100 万円	3 億 4, 600 万円増	4.4%增
計	2, 782 億 6, 500 万円	2, 653 億 9, 300 万円	128 億 7, 200 万円増	4.9%增

3 主な事業の件数と金額

事業内	内容	件数	金額
長期計画に定める	施設 (ハード事業)	49件	178億6,800万円
主要事業	非施設 (ソフト事業)	18件	48億3,800万円
新たな取り組み(主	要事業を含む)	60件	84億5,300万円
事業の拡充(主要	要事業を含む)	33件	22億1,100万円

重 点 事 業

1 防災・まちづくり

- ・安全で安心なまちの実現
- ・快適な暮らしを支えるまちづくり

2 子育で・教育

- ・安心してこどもを産み、育てられる環境の充実
- ・知・徳・体を育む魅力ある学び舎づくり
- ・こどもの未来を育む地域社会づくり

3 健康・福祉

- ・健康で安心して生活できる保健・医療体制の充実
- ・誰もが自立し、安心して暮らせる福祉施策の推進

4 緑・環境

- ・水辺と緑に彩られた魅力あるまちの形成
- ・環境負荷の少ない地域づくり

5 産業・生活

- ・健全で活力ある地域産業の育成
- ・個性を尊重し、活かしあう地域社会づくり
- ・地域文化の活用と観光振興

- ◆ 区の魅力を発信!ブランディング戦略を展開(1-1 オリンピック・パラリンピック関連事業①) 東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて、新たなシンボルマークを作成します。
- ◆ <u>江東区東京オリンピック・パラリンピック基金を創設(1-2 オリンピック・パラリンピック関連事業②)</u> 東京オリンピック・パラリンピック開催に伴う事業の財源に充てる基金を創設します。
- ◆ <u>江東区中央防災倉庫が完成(1-3)</u> 救援物資等の集配所としての機能を持つターミナル型防災倉庫が完成します。
- ◆ 豊洲西小学校の体育館棟を地域へ一般開放(2-1)

豊洲西小学校の開校に伴い、体育館、温水プールなどを地域に開放します。

- ◆ (仮称)第二有明小・中を新設、南陽小ほか3校を増設(2-2) マンション等の急増に対応するため、小・中学校を新設、増設します。
- ◆ 認可保育所の整備を計画(2-3)

実質的な待機児童の解消に向け、認可保育所の整備を実施します。

◆ <u>セーリングやカヌー体験を通して学校復帰や進学を支援(2-5)</u> 相談学級の児童・生徒にセーリング体験を実施するなど、学校復帰や進学を支援します。

◆ 認知症ガイドブックの作成、認知症カフェ運営費を補助(3-1)

認知症ガイドブックの作成や認知症カフェの運営に要する経費を補助します。

◆ 重症障害児(者)を介護する家族等を支援(3-2)

在宅の重症障害児(者)に対し、訪問看護師を派遣し、医療的ケアを実施します。

◆ 23区初!燃料電池自動車(水素自動車)を導入(4-1)

区庁有車に水素で走る燃料電池自動車を導入します。

- ◆ 区南部地域の拠点となる「豊洲シビックセンター」を開設(5-1 豊洲シビックセンターの整備①) 区南部地域の公共・文化施設の拠点となる「豊洲シビックセンター」を開設します。
- ◆ <u>豊洲出張所の取扱業務を拡大、区民の利便性向上(5-2 豊洲シビックセンターの整備②)</u> 豊洲シビックセンター内に出張所取扱業務を拡大した豊洲特別出張所を開設します。
- ◆ <u>機能を拡充して豊洲図書館を整備(5-3 豊洲シビックセンターの整備③)</u> 豊洲シビックセンター内にこどもから大人、外国の方も楽しめる新たなサービスを導入する豊洲図 書館を開設します。
- ◆ <u>2020年東京パラリンピックに江東区出身のカヌー選手を輩出(5-4)</u> 区と地域の連携で江東区出身のカヌー選手の東京パラリンピック出場を目指します。

主な事業の詳細

オリンピック・パラリンピック関連事業①

区の魅力を発信!ブランディング戦略を展開

オリンピック・パラリンピックに向けてシンボルマークを作成

新たな取り組み

事業経費

1,970万円

◆事業内容

- 区の魅力ある未来像をイメージさせるブランドコンセプトを策定し、区のブランドを構築・発信 します。
- ○ブランドコンセプトを目で見える形でわかりやすく表すものとして、新たなシンボルマークを 作成します。

◆目的

- 東京オリンピック・パラリンピック競技会場が集中する江東区は世界中から注目されることから、 ブランディング戦略を展開し、区の魅力を国内外に発信します。
- 区民の心が一つになるようなシンボルマークを作成し、江東区を訪れるすべての人を歓迎する気運を高めます。

◆江東区のブランディング戦略

区のブランドコンセプトを策定し、新たなシンボルマークを作成します。また、そのコンセプトを区民が共有するとともに、区外の人にも伝えるための様々なPR方法の検討を行っていきます。

◆シンボルマークの活用方法

東京オリンピック・パラリンピック関連イベントや区民まつりなどのイベントで活用し、区民に親しまれるシンボルマークにしていきます。

◆シンボルマーク作成のスケジュール

・有識者、区職員等による検討組織の立ち上げ・ブランドコンセプトの策定・シンボルマーク案の検討
 平成28年3月・シンボルマークの決定



発展を続ける江東区

長期計画の該当項目:計画の実現に向けて(2)スリムで区民ニーズに的確に対応した行財政運営

担当課:企画課窓 口:4階1番

電話:3647-9168 内線:2115

1 防災・まちづくり

ー 東京オリンピック・パラリンピック 1-2 基金積立金

オリンピック・パラリンピック関連事業②

江東区東京オリンピック・パラリンピック基金を創設

区から東京オリンピック・パラリンピックを盛り上げよう!

新たな取り組み

事業経費

3億円

◆事業内容

- ○2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に伴う事業に要する経費の財源に充てるため、 「江東区東京オリンピック・パラリンピック基金」を創設します。
- 平成31年度までの間、毎年3億円を基金に積み立て、東京オリンピック・パラリンピック関連事業に活用します。

◆目的

- ○区が行う東京オリンピック・パラリンピック関連事業の財源確保や収支の明確化を図ります。
- 財源を準備し、大会開催に向けた各種事業を展開することにより、まちに活気をもたらし、 区民の意識の高揚を図ります。

◆27年度の基金の活用事業

事業名	特徴	金額
オリンピック・パラリンピック開催 準備事業	気運醸成のためのイベントやブランディング戦略 の検討	2,269万円
区民スポーツ普及振興事業	パラリンピックへの選手輩出に向けたカヌー指導 等	273万円
魅力ある商店街創出事業	多言語表記の促進(メニュー、看板等)に係る 経費を補助	200万円
観光PR事業	外国語版観光マップの作成や訪日外国人向け フリーマガジンへの観光情報の掲載	534万円
江東区観光協会運営補助事業	会場予定地を含めた臨海部の観光資源の発掘	380万円
東京オリンピック・パラリンピック 会場周辺路線無電柱化事業	会場周辺道路の無電柱化(辰巳・東雲地区)	45万円
メロディーロード事業	メロディーを奏でる道路の整備に向けた調査等	198万円
合計		3,899万円

◆他区の状況

23区初

長期計画の該当項目:計画の実現に向けて(3)自律的な区政基盤の確立

担当課:企画課窓 口:4階1番

電話:3647-9168

災害に強いまちづくりの推進に向けて

江東区中央防災倉庫が完成

区内初のターミナル型防災倉庫が完成、防災施設の充実を図ります

事業の拡充

事業経費

2億1,450万円

◆事業内容

応急物資や資機材等を保管するだけでなく、区外からの救援物資等の集配所としての機能を持つターミナル型防災倉庫「江東区中央防災倉庫」が完成します。

◆目的

他自治体等からの支援物資のうち主に水・食料等の物資輸送拠点として、災害時の効率的かつ円滑な供給につなげるとともに、物資の保管スペースを確保します。

◆江東区中央防災倉庫 概要

所在地	塩浜一	塩浜一丁目3番(敷地面積 867.96 m²)									
構造	鉄骨造	地上2階建(延床面積 864.00 m²)									
	1階	○ 直接トラックからの荷捌きが可能○ フォークリフトでのパレット(荷役台)積みが可能○ 救援物資等の一時集積									
特徴	2階	○ 区の備蓄物資(避難者約32,000人分の食料等)を保管○ 備蓄物資等の小荷物昇降機による積み上げ、シューター(滑り台)による 積み下ろしが可能									
		クリフト等の充電や小荷物昇降機等の動力、照明等の電力は倉庫内の可動式 こより対応可能									

◆竣工予定

平成27年8月

◆背景

江東区中央防災倉庫(完成イメージ)

東日本大震災等過去の災害を教訓に、災害時の救援物資の集積・仕分け作業を行う施設として、ターミナル型防災倉庫を設置する必要性があります。また、新たな被害想定に対応するための備蓄物資等の保管場所を確保する必要性が生じました。

長期計画の該当項目:施策32 災害に強い都市の形成

担当課:防災課 電話:3647-9584

窓 口:防災センター4階1番 内線:6211

官民が連携し魅力ある水辺空間を創出

豊洲ふ頭内公園等の管理運営について民間提案を募集

豊洲地区の価値向上を目指します

新たな取り組み

事業経費

1,047万円

◆事業内容

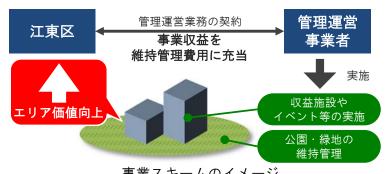
豊洲ふ頭内の公園等について、区と民間事業者との連携による管理運営事業の導入に 向け、民間提案を募集します。

◆目的·効果

- ○区が民間事業者と協働して管理運営事業を行うことで、民間活力や優れたアイデアを活か した魅力ある水辺空間の創出を目指します。
- ○民間事業者の事業収益を公園の維持管理費用に充当することから、区の財政支出の抑制 を図ります。

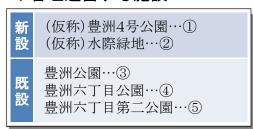
◆民間事業者に期待される役割

- ○公園の魅力向上
- ○施設設置やイベントなどの収益事業 の実施
- ○収益を公園等の維持管理費に還元
- ○行政からの費用負担を最小限とした 自立経営



事業スキームのイメージ

◆管理運営する施設





▶スケジュール

見則坦安の芦生
民間提案の募集
0公募•選定
管理運営事業の開始

◆他区の導入状況

23区初

長期計画の該当項目:施策1 水辺と緑のネットワークづくり

担当課:河川公園課

口:防災センター6階

電話:3647-9426

東京オリンピック・パラリンピックをテーマにしたイルミネーションも!

旧中川「ふれあい橋」のライトアップ照明を整備

「亀戸景観重点地区・旧中川沿い区域」のシンボルに!

新たな取り組み

事業経費

3,300万円

◆事業内容

旧中川に設置されている「ふれあい橋」のライトアップ照明を改修し、東京オリンピック・パラリンピックや旧中川で実施されている灯篭流しなどをイメージした多彩なイルミネーションで橋を彩ります。

◆目的·効果

- ライトアップ照明を行うことにより、ふれあい橋が江東区景観計画に定める「亀戸景観重点 地区・旧中川沿い区域」のシンボル的な役割を担い、地域の活性化につなげていきます。
- 東京オリンピック・パラリンピックをテーマにした点灯を行うことにより、大会準備期間や大会 開催中の気運醸成を図ります。
- ○ライトアップ用LED照明を使用し、省エネ化にも配慮します。

◆旧中川沿い区域の整備状況等

平成24年3月	旧中川整備事業が完了し、河川敷が旧中川 全域に渡り完成(都事業)
平成25年3月	旧中川水辺公園あじさい広場を整備 (区事業)
平成25年4月	亀戸付近一帯(旧中川沿い区域)を景観 重点地区に指定(区指定)

◆ライトアップ開始予定

平成28年3月



ふれあい橋

◆その他

「ふれあい橋」は江東区(亀戸九丁目)と江戸川区(平井三丁目)を結ぶ橋梁であり、この改修に要する事業費は両区で負担します。

長期計画の該当項目:施策31 便利で快適な道路・交通網の整備

担当課:施設保全課 電話:3642-5027

1 防災・まちづくり

・1-6 東京オリンピック・パラリンピック 会場周辺路線無電柱化事業

東京オリンピック・パラリンピック会場周辺道路の整備

区内道路の無電柱化を推進

安全で快適な歩行空間、良好な景観、災害に強いまちづくりを進めます

新たな取り組み

古光奴弗	2 7 年度	2,499万円
事業経費	総事業費	1 1億3,895万円

◆事業内容

東京オリンピック・パラリンピック開催に伴い、競技会場周辺道路の無電柱化を進めます。

◆目的・効果

- 東京オリンピック・パラリンピック開催に向け、国内外からの来訪者に対して、安全で快適な 歩行空間の確保など道路環境の整備推進を図ります。
- ○まちの景観を良好にします。
- ○災害時の通行障害をなくし、災害に強いまちづくりを進めます。

◆整備する道路

	名称	場所	延長
1	特別区道江490号線	辰巳二丁目3番から5番	約150m
2	特別区道江470号線	辰巳二丁目3番から2番	約350m
3	特別区道江617号線	東雲一丁目7番から8番	約510m

◆事業スケジュール

事業完了予定: 平成31年度 管路条数及び特殊部位置の決定 交通管理者との設計協議 平成27年度 整備計画書の策定など 支障物件の移設 平成28年度 電線共同溝本体工事 各宅地への引込み管路位置調整 年次計 電線共同溝本体工事 各宅地への引込み管路位置調整 平成29年度 画 及び工事 各宅地への引込み管路工事 平成30年度 道路本復旧設計及び工事 平成31年度 道路本復旧工事

◆工事箇所



長期計画の該当項目: 施策31 便利で快適な道路・交通網の整備

担当課:道路課

窓口:防災センター3階5番

電話:3647-9346

東京オリンピック・パラリンピックをイメージする音楽を奏でる

区内道路にメロディーロードを整備

大会開催に向け気運醸成を促します

新たな取り組み

事業経費

198万円

◆事業内容

東京オリンピック・パラリンピック開催に向け、区内を走行する自動車の運転者及び同乗者が、 大会をイメージするメロディーを聴くことのできる道路の整備を検討します。

◆目的·効果

- 東京オリンピック・パラリンピック開催に向け、気運醸成を促します。
- メロディーを聞くためには、一定速度で走行する必要があり、速度抑制の効果があるため 交通安全にも寄与できます。

◆事業化に至った経緯

本区では、職員で構成された長期計画(後期)策定プロジェクトチームが、区全体の気運が高まるような事業を検討しました。メロディーロード事業は、このプロジェクトチームが東京オリンピック・パラリンピック開催に向けた新たな取り組みとして提案し、事業化したものです。

◆事業スケジュール

- ○平成27年度路線選定に伴う調査及び設計
- 平成28年度以降 各関係機関協議(警察等)及び地先調整 メロディー選定、施工



メロディーロード(イメージ)

◆他区の状況

23区初

長期計画の該当項目:施策31 便利で快適な道路・交通網の整備

担当課:道路課 電話:3647-9346

窓 口:防災センター3階5番 内線:6434

不燃化特区の新たな展開

共同化建替にかかる助成を開始

「北砂三・四・五丁目地区」の延焼被害ゼロを目指す

事業の拡充

事業経費

180万円

◆事業内容

- 平成26年4月に指定を受けた、都の「木密地域不燃化10年プロジェクト」における不燃化 特区制度を活用し、不燃化支援の助成や相談会の開催、戸別訪問、防災まちづくり懇談会 等の不燃化特区事業を行います。
- 平成27年度は、新たな施策として戸建住宅から共同住宅に建て替える際にも不燃化支援の助成対象とします。

◆目的

- 木造住宅が密集し区内で最も地域危険度が高い「北砂三・四・五丁目地区」の不燃化を 強力に進め、燃えない、燃え広がらないまちを実現します。
- 平成32年度までに特区内における不燃領域率(※)の70%達成を目指すとともに、居住環境の改善を図ります。 ※不燃領域率:まちの燃えにくさを表す指標

◆特色

- ○平成26年7月、住民がいつでも気軽に立ち寄れる不燃化相談ステーションを開設
- 専門家による個別相談会、木造や防火造の住戸への戸別訪問を実施し、住民のニーズに きめ細かく対応
- ○戸別訪問を目的とした相談ステーションを設置しての不燃化事業は23区初
- ○小規模公園の整備、行き止まり道路等の解消

◆実績(平成26年12月末現在)

助成対象確認件数	13件
戸別訪問完了件数	729件

◆事業完了日

平成32年度末

◆他区の状況

17区38地区で実施



防災まちづくり懇談会の様子

長期計画の該当項目:施策32 災害に強い都市の形成

担当課:地域整備課

口:5階23番

電話:3647-9491

「白転車が安小・安全に利用できるまち江東」を目指して

全国初!自転車サイドミラーのモニター実験を実施

コミュニティサイクルにサイドミラーを装着します

新たな取り組み

事業経費

117万円

◆事業内容

自転車の安全利用を推進するため、臨海部で事業展開しているコミュニティサイクル、約300 台の新車にサイドミラーを装着し、その有効性等を検証するモニター実験を実施します。

◆目的

- 自転車サイドミラーの普及推進を通じて、自転車の安全利用とルールの順守、マナーの 意識向上を図り、自転車が関係する交通事故の撲滅を目指します。
- モニター実験の結果を、東京都、警視庁、自転車関係団体に提供し、自転車サイドミラーの 普及を促すとともに、今後の自転車安全利用の推進に活用します。
- ○コミュニティサイクルを活用することで、より多くの人に自転車サイドミラーを周知し、関心を 高め、安全意識の向上を図ります。

◆スケジュール

- ○平成27年度初旬~平成28年3月 コミュニティサイクルに装着し実証実験
- 平成28年4月以降コミュニティサイクル利用者に対するアンケートを実施



装着したサイドミラー(イメージ)

◆コミュニティサイクルとは

- ○「江東区臨海部コミュニティサイクル」は、複数配置されたステーションで自由に貸出、返却することができる自転車シェアリングシステムです。現在、コミュニティサイクル導入による効果を検証するため、実証実験を行っています。(平成27年1月現在300台稼働)
- 平成27年度は既存自転車を電動アシスト自転車に入れ替えるとともに、今後、ステーション の高密度化やエリア拡大を図っていく予定です。

(担当課:まちづくり推進課)

長期計画の該当項目:施策31 便利で快適な道路・交通網の整備

担当課:交通対策課

窓口:防災センター2階1番

電話:3647-4787

インターネットで気軽に閲覧

建築情報閲覧システムを構築

都市計画、緊急輸送道路、建築基準法に基づく道路種別などを提供!

新たな取り組み

事業経費

3,407万円

◆事業内容

都市計画(用途地域や景観計画等)や緊急輸送道路、建築基準法に基づく道路種別などの情報閲覧システムを構築し、区民や事業者に対してインターネットで情報提供します。

◆目的・効果

建築情報閲覧システムで提供する情報は、建築計画、土地利用や建築物の耐震化を図る為に必要不可欠な情報であり、東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて建築需要が高まる中、「必要な時に必要な情報を迅速に閲覧したい」というニーズに的確に応えることができます。

◆公開情報

情報	内容
緊急輸送道路	地震直後から発生する緊急輸送を円滑に行うため、防災拠点を相互に 連絡する道路
用途地域等	建物の用途の制限及び建ぺい率、容積率、高さ等の制限など
建築基準法道路	建築基準法に規定される道路 建物を建てるには、この道路に接道する必要がある。

その他、景観計画や都市計画施設などを公開予定

◆運用開始予定

平成28年3月

◆他区の状況

23区中8区で導入済み



長期計画の該当項目:計画の実現に向けて(2)スリムで区民ニーズに的確に対応した行財政運営

担当課:建築課

窓 口:5階28番

電話:3647-9736

地域に開かれた学校を目指して

豊洲西小学校の体育館棟を地域へ一般開放

体育館・プール・トレーニング室の一般利用を開始

新たな取り組み

事業経費

1億8,987万円

◆事業内容

地域スポーツ活動、コミュニティの拠点として、平成27年4月開校予定の豊洲西小学校の体育館棟(体育館・温水プール・トレーニング室) を、学校が使用しないときに地域に一般開放します。

◆概要

	利用対象者	利用時間	料金
体育館	団体のみ (原則)	【平 日】午後6時~午後9時 【土日祝】午前9時~午後9時	【昼間】450円 【夜間】700円 【設備使用料】500円(1団体)
温水プール (25m×6コース)	個人のみ	【 6~9月】午後6時~午後9時 【10~5月】午前9時~午後9時 ※6~9月は、学校が使用して いない日は日中も利用可能	【一般】 2時間400円 超過1時間200円 【中学生以下、65歳以上】 2時間150円 超過1時間75円
トレーニング室 (約200㎡)	個人のみ	【全日】午前9時~午後9時	【一般】4時間400円 【65歳以上】4時間100円

【休業日】年末年始(12月29日~1月3日)、学校が使用する日、設備保守点検日及びプール 換水・清掃日、第3月曜日(プール及びトレーニング室のみ)

◆特色

- ○若者から高齢者まで、幅広い世代にも対応したトレーニング機器を導入します。
- ○プールにスロープを設置し、バリアフリー仕様で誰でも安心して利用できます。
- ○女子更衣室にパウダーコーナーを設置するなど、利用しやすい快適な環境を整備します。
- ○未就学児や高齢者を対象とした水泳教室等を開催します。

◆開始予定

◆豊洲西小学校 概要

平成27年5月中旬

- 地上4階建 (体育館棟 地上3階•地下1階建)
- ○敷地面積 約10,000㎡

◆実績

区立学校施設として、体育館、プール、トレーニング室を一体で 一般開放するのは23区初



豊洲西小学校 完成イメージ

担当課: 庶務課・学務課 電話: 【庶務課】3647-8482【学務課】3647-9174 窓 口: 6階1番・2番 内線: 【庶務課】3324 【学務課】3331

(仮称)第二有明小・中学校整備事業 2 子育で・教育 南陽小学校增築事業 等

有明地区の学校整備、児童増加による校舎増築を推進

(仮称) 第二有明小・中を新設、南陽小ほか3校を増設

集合住宅の建設に伴う児童・生徒の学習環境の確保に向けて!

事業の拡充

	事業名	2 7 年度	総事業費
	(仮称)第二有明小学校整備事業	1度5.006天田	004 <i>/</i> 2000 TIII
	(仮称)第二有明中学校整備事業	1億5,326万円	204億2, 022万円
事業経費	南陽小学校増築事業	2,989万円	8億5,231万円
	東雲小学校増築事業	4,258万円	11億4,135万円
	有明小学校增築事業	5,313万円	1 2 億 8, 0 1 9 万円
	北砂小学校增築事業	5億2,985万円	5億4,318万円

◆事業内容

- 児童・生徒の増加に対応するため、(仮称)第二有明小学校及び(仮称)第二有明中学校 (同一敷地内に併設される「施設一体型」)の新設に向け、実施設計に取り組みます。
- 区内の集合住宅の建設に伴う児童の増加に対応するため、南陽小学校・東雲小学校・有 明小学校・北砂小学校の校舎の増設を行い、平成28年4月からの使用開始を目指します。
- 区の地場産業である木材を可能な範囲で使用する"江東区らしい学校施設"とするため、 (仮称)第二有明小学校及び(仮称)第二有明中学校は、建物の木質化(※1)に加えて、 区としては初の試みとなる、建物の一部を木構造(※2)とします。
- ※1 木質化:建築物の内装及び外装の全部または一部に木材を使用すること ※2 木構造:建築物の主要構造部(柱、屋根、壁、床、梁等)の全部または一部に木材を使用すること

◆目的

有明地区などマンション等の急増地域における児童・生徒の良好な学習環境の確保を図り ます。

◆整備概要

学校名	区分	所在地	スケジュー	ール
(仮称)第二有明小学校 (仮称)第二有明中学校	新設	有明一丁目	平成27年度 平成28~29年度 平成30年3月	実施設計 工事 竣工
南陽小学校		東陽二丁目1番20号		
東雲小学校	т∺≕п	東雲二丁目4番11号	亚 - C -C-C-C-C-C-C-C-C-C-C-C-C-C-C-C-C-C-	拉工
有明小学校	増設	有明二丁目10番1号	平成28年3月	竣工
北砂小学校		北砂一丁目3番36号		

安心して通える楽しい学校(園)づくりの推進 長期計画の該当項目:施策9

担当課:学校施設課

窓 口:6階8番

電話:3647-9173

急増を続ける保育需要に迅速に対応

認可保育所の整備を計画

保育施設の定員を約1,000人増やし、総定員約12,000人へ

新たな取り組み

事業経費

17億5,827万円

◆事業内容

- ○急増を続ける保育需要に迅速に対応するため、地域の状況等に応じて、民設民営の認可 保育所を整備し、1,000人程度の定員確保を図り、実質的な待機児童解消に向けた更なる 取り組みを行います。
- 平成27~31年度の5年間にわたり、各年度1,000人、計5,000人程度の保育施設の定員 を確保していきます。

◆スケジュール

開設時期	所在地	定員数	備考
平成28年4月	計画中	計 約1,000人	保育需要数の状況に応じて、平成28年4月の開設に向け、認可保育所を整備 ※開設場所、施設数(定員)については、保育需要の状況に応じて決定。 必要な地域に計1,000人程度の定員数を確保

◆実績

江東区では、平成19年から平成26年までの7年間で、認可保育所・認定こども園・認証保育所合わせて 4,436人の定員増を行いました。(0~5歳人口の増加数は4,490人) 今後も施設整備を行い、実質的な待機児童解消を目指します。 25,865 26,226 26,425 27,182 28,005 100.0% 30,000 25,210 <u>22,692</u> 23,158 23,853 25,000 80.0% 20,000 60.0% 15,000 40.0% 12,090 10,810 9,703 10,000 9,466 9,128 8,407 7,654 7,056 6,374 20.0% 5.000 0 0.0% H19 H20 H21 H22 H23 H24 H25 H27 ■定員合計 ■ 0~5歳人口 人口に対する定員の比率 ※定員合計は認可保育所、小規模認可保育所、認定こども園、認証保育所の合計です。 ※定員合計は各年4月1日、0~5歳人口は各年1月1日時点の数字です。

長期計画の該当項目:施策6 保育サービスの充実

担当課:保育計画課

口: 3階12番奥

内線:2791

電話:3647-9638

「子ども・子育て支援新制度」にあわせて

認可外保育施設の認可・小規模認可保育所への移行を計画

認可外保育施設の認可化を推進

新たな取り組み

事業経費

6億8,941万円

◆事業内容

- ○平成27年4月から開始する「子ども・子育て支援新制度」にあわせ、区内の認可外保育施設を平成27~30年度の4年間で認可保育所または小規模認可保育所へ移行できるよう、改修費用等の一部を補助します。
- ○平成27年4月から、先駆的に7施設を新制度の保育施設へ移行します。
- 認可保育所、小規模認可保育所への移行は、事業者の意向や保育施設の設備、職員の 状況を確認し、在園児童に配慮しながら計画的に実施します。

◆背景

「子ども・子育て支援新制度」において、国は保育の質を確保しつつ量を拡充していく方針を掲げ、認可保育所や小規模認可保育所等への移行を目指す認可外保育施設に対して 支援を行うとしています。

◆スケジュール

移行時期	認可保育所 ※1	小規模認可保育所 ※2	移行対象施設
平成27年4月	2施設	5施設	【認可保育所への移行元施設】 ①東京都認証保育所 1施設 ②地方裁量型認定こども園 1施設 【小規模認可保育所への移行元施設】 ①東京都認証保育所 1施設 ②グループ保育型家庭的保育室 4施設
平成28年4月	<u>13施設程度</u>	<u>3施設程度</u>	東京都認証保育所等の保護者負担
平成29年4月 ~ 平成31年4月	39施設程度	7施設程度	軽減補助対象施設

※1:年齢 0歳~就学前、定員 20人以上の保育所※2:年齢 0歳~2歳 、定員 6~19人以下の保育所

長期計画の該当項目:施策6 保育サービスの充実

担当課:保育計画課

窓口:3階12番奥

電話:3647-9638

不登校児童・生徒への支援充実策

セーリングやカヌー体験を通して学校復帰や進学を支援

新たな自己啓発として「エンカレッジ体験活動」を開始

新たな取り組み

事業経費

85万円

◆事業内容

相談学級やブリッジスクール(適応指導教室)に通う児童・生徒を対象に「エンカレッジ(※)体験活動」として、セーリング体験やカヌー体験、校外学習や職場体験を実施し、学校復帰や進学を支援します。

※エンカレッジ:元気づける、勇気づける、自信を与える

◆事業内容

体験活動名	趣旨	実施場所	人数	回数
セーリング体験	みんなで協力して海上で ヨットやボートに乗り、自然 を感じ、達成感を味わう	若洲ヨット訓練所、 葛西沖(東京湾)	1回あたり 20人程度	年6回程度 (5~10月)
カヌー体験	カヌーの楽しさ等を体感し、 自然を感じ、体力を高めると ともに達成感を味わう	竪川河川敷公園 カヌー・カヤック場	1回あたり 10人程度	年6回程度
校外学習体験	学習施設、文化施設等の 訪問を通して見識を深め、 学習意欲を高める	深川江戸資料館、 日本科学未来館、 東京都現代美術館等	1回あたり 10~20人程度	年複数回
職業体験	コミュニケーション能力を付け、 職業観・勤労観を育む	児童館、図書館等	事業所の 受入人数に 応じて	年3~5日程度 (中学生)

◆目的·効果

- 不登校児童・生徒の学校復帰を目指し、様々な体験活動を通して「生きる力」を育む支援を 行います。
- 野外での体験活動を通して、自己有能感や達成感を味わうことができ、学校復帰や進学への自信がつきます。

◆背景

不登校者数は年々減少傾向でしたが、不登校の要因が複雑化し、学校復帰が難しくなるなど、平成25年度は増加に転じました。そのため、学校復帰や進学に向けての自信と学校生活への適応力を高めていく必要があります。

◆他区の状況

セーリング体験やカヌー体験は23区初

セーリング体験 (イメージ)

長期計画の該当項目:施策9 安心して通える楽しい学校(園)づくりの推進

担当課:指導室 電話:3647-9178

窓口:6階4番 内線:3381

認知症のサービスをもっとわかりやすく

認知症ガイドブックの作成、認知症カフェ運営費を補助

認知症の早期の気づきと対応、家族支援を推進

新たな取り組み

事業経費

147万円

◆事業内容

- 認知症の進行状況に応じた適切なサービスの流れ (認知症ケアパス)を確立して、認知症 の方やその家族等に認知症をわかりやすく説明するためのガイドブックを作成します。
- 認知症の方やその家族、地域住民等の誰もが気軽に参加できる認知症カフェの設置を普及・促進するため、カフェを実施する事業者に対して運営に要する費用の一部を補助します。

◆目的·効果

- ○これまでは症状が進行してからの「事後的な対応」となっていましたが、症状の進行を 見据えた「早期・事前的な対応」にケアの流れを変えていき、認知症の方を地域で 支えていく体制を構築していきます。
- ○認知症カフェを実施することで、認知症の早期発見・早期対応や認知症の方の生きがいづくり、家族への支援、地域住民の認知症に対する理解を深めるなど、認知症に対する 支援の充実につながります。

◆認知症ケアパス (Care Path)

認知症を発症したときから生活機能障害が進行していくなかで、その進行状況に合わせて、いつ、どこで、どのような医療・介護サービスを受けることができるか、標準的なサービスの流れを示したもの。

高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の改定に合わせて更新する予定。

◆スケジュール

ガイドブック作成	カフェ運営費補助
平成28年3月 完成	平成27年7月~

◆実績・背景

- ○地域による特色を把握するため、平成26年度から区内の長寿サポートセンターの担当地域 ごとに、認知症ケアパスの作成に向けた社会資源の把握・整理を行っています。
- 平成26年度から、区内の介護事業者により常設で認知症カフェ1か所を開設しているほか、 グループホームや社会福祉法人、病院等でも開設しています。

長期計画の該当項目:施策25 総合的な福祉の推進

担当課:高齢者支援課

窓口:3階10番

電話:3647-4398

訪問看護師が家族等に代わり障害者の医療的ケアを実施

重症障害児(者)を介護する家族等を支援

介護する家族等の負担を軽減します

新たな取り組み

事業経費

603万円

◆事業内容

- ○日常的に医療的ケアが必要な重症障害児(者)【※】の自宅に訪問看護ステーション等の 看護師を派遣し、家族等に代わって「医療的ケア」及び「療養上の世話」を行います。
- ○「医療的ケア」は、医師の指示のもと看護師が行います。

※重症障害児(者):愛の手帳2度以上及び身体障害者手帳2級以上の障害が重複している方

◆目的·効果

- 重症障害児(者)を介護している家族等が一時的に介護を離れ、リフレッシュすることにより、 介護者の負担が軽減でき、福祉の増進を図ります。
- ○区、訪問看護ステーション、医療機関が連携して支援する体制が構築できます。

◆特色

介護する家族等の休養を目的とした、訪問看護師による人工呼吸器管理、排せつ管理や栄養剤等注入などの医療的なケアを受けることが可能となります。

◆対象者

在宅で、家族等から医療的ケアを受けている重症障害児(者)とその家族等

◆利用者負担

世帯の所得状況により一部利用者負担あり

◆他区の状況

23区中3区で導入済み



長期計画の該当項目:施策25 総合的な福祉の推進

担当課:障害者支援課

窓口:防災センター2階11番

電話:3647-4952

高齢者等が住み慣れた地域で安心して暮らすために

医療と介護が連携して在宅医療を推進

在宅医療相談窓口の整備等で在宅医療を進めます

新たな取り組み

事業経費

4 1 4 万円

◆事業内容

- 自宅等で必要な医療が受けられる在宅医療に関する理解を促進するため、在宅医療相談窓口やわかりやすい医療マップの整備、在宅医療の手引きの作成や区民学習会を開催します。
- 在宅医療の取り組みを効果的に進めるため、区民・医療関係者・介護事業者等をメンバーと する会議体を設置し、在宅医療の推進策について検討を行います。

◆概要

取り組み	主な対象者	内容	実施予定
在宅医療連携会議	区民·医療関係者· 介護事業者等	関係者同士が顔の見える関係を つくり、新たな施策を検討	年2回 (6月、3月)
在宅医療相談窓口	区民•介護事業者	在宅医療に関する相談窓口を整備	6月相談開始
多職種研修	医療•介護関係者	在宅利用に関するスキルアップを 図る	年2回 (7月、11月)
病院職員訪問看護 ステーション実習	病院職員	病院職員が在宅医療の現場体験 を通じて、スムーズな退院支援の あり方を学習	年2回
在宅医療の手引き・ 区民学習会	区民·介護事業者	在宅医療の理解を促進するための 手引きの作成、学習会の開催	6月作成開始
かかりつけ医マップ	区民	区内の医療情報一覧を作成し配布	6月配布開始

◆背景

- 多くの高齢者は、介護が必要になっても住み慣れた地域・自宅等で安心して暮らすことができるように望んでいます。
- 医療環境の変化に伴い、在宅医療の重要性がかつてないほどの高まりを示しており、医療・保健・介護が一体となった連携が求められています。

在宅医療連携会議(イメージ)

長期計画の該当項目:施策24 保健・医療施策の充実

担当課:健康推進課

窓 口:保健所2階9番

電話:3647-5889

3-4 生活困窮者自立相談等支援事業 まなびサポート事業

「自立相談等支援事業」及び「まなびサポート事業」の実施

生活にお困りの方への総合相談窓口を開設

生活を立て直すための各種支援事業を開始します!

新たな取り組み

事業経費

生活困窮者自立相談等支援事業 6,205万円

まなびサポート事業

1.256万円

◆事業内容

- 生活困窮者に対し、失業、債務、住居などの生活上の問題解決に向けた支援を行う一元的 な総合相談窓口を開設します。
- 生活保護受給者及び生活困窮世帯のこどもの高校進学をサポートするまなび支援員を配置 するほか、学習場所を提供する学習支援を行います。
- ○就労先の紹介や、就職に向けた準備の手助けをします。

◆目的·効果

- ○早い段階から包括的な支援を行うことで早期の自立を図ります。
- ○学習支援を行うことで貧困の世代間連鎖を防止します。

◆特色

健康

福

祉

- ○総合相談窓口を設置することで、多角的な支援策を見出し、今までの制度や支援体制では 難しかった課題の解決に向けた支援を行います。
- 各種関係機関、関係部署が連携し、横断的に相談、支援を行うことにより、新たな支援ネット ワークが構築されます。

◆実施場所

福祉事務所(保護第一課)

東陽4-11-28(区役所本庁舎2階)

福祉事務所(保護第二課)

大島4-5-1(総合区民センター1階)

◆開始予定

平成27年4月

生活支援相談窓口(イメージ)

◆経緯

第一のセーフティネットといわれる公的年金や雇用保険制度などの社会保障制度と最後のセーフティネットといわれる生活保護制度について整備されていますが、その間の自立支援に関する制度が未整備であったため、生活困窮者自立支援法施行に基づき、各種支援事業を立ち上げます。

長期計画の該当項目:施策27 自立と社会参加の促進

担当課:保護第一課・保護第二課

口:2階24番・総合区民センター1階

東 【保護第一課】3647−4753

【保護第二課】3683-2435

「環境先進都市・江東」の実現に向けて

23区初!燃料電池自動車(水素自動車)を導入

環境負荷の低減、低公害・低燃費化を進めます

新たな取り組み

事業経費

1,601万円

◆事業内容

買替時期が到来した区所有のガソリン車2台を、水素で走る燃料電池自動車(FCV:Fuel Cell Vehicle)に買い替えます。

◆目的

「水素社会の実現」に向けて燃料電池自動車の普及促進を行い、環境負荷の低減、低公害・ 低燃費化を進め「環境先進都市・江東」の実現を目指します。

◆特色

- ○走行中の排出は水のみで、大気汚染物質を排出しません。
- ○電気自動車(EV)と比べ航続距離が長く(約230kmに対し約650km[※])、非常用電源としての供給能力はEV車5台分になります。
- ○水素充填時間は約3分と、ガソリン車並みの短時間で燃料供給できます。

※ JC08モード走行パターンによる測定値

◆補助金の活用

国・東京都でも水素の活用を積極的に推進しており、燃料電池自動車購入の際に、それぞれから補助金が交付されます。(一台あたり国補助202万円、東京都補助202万円)

◆導入予定

平成27年4月下旬(2台)

◆使用場所

区内全域

◆エコカー導入実績

車種	導入時期	台数
電気自動車(EV)	平成23年11月	1台
ハイブリッド車	平成24年6月	2台

◆他区の状況

23区初



燃料電池自動車(イメージ)

長期計画の該当項目: 計画の実現に向けて(2) スリムで区民ニーズに的確に対応した行財政運営

担当課:総務課窓口:4階5番

電話:3647-4020

区役所本庁舎(防災センター)屋上で養蜂

「江東区ハニープロジェクト」始動

C I Gの推進・都市の生態系回復・新たな地産品の誕生を目指して

事業の拡充

事業経費

177万円

◆事業内容

区役所本庁舎(防災センター)屋上で、養蜂事業「江東区ハニープロジェクト」を開始します。

◆目的

- ○本プロジェクトへの区民の関心を高め、ミツバチの蜜源となる樹木・草花を増やすことで、 区のCIG(CITY IN THE GREEN)ビジョンを推進します。
- ○区内の蜜源から作られたハチミツを、区内で活用することで、地域の活性化を目指します。

◆効果・特色

- 蜜源確保のために、民間ビルの屋上や一般家庭のベランダ等にも樹木・草花の植栽を勧奨することで、区民・事業者・行政が一体となって協働でCIGビジョンの実現に向けて推進していくことができます。
- ○公共施設を用いた、区と区民ボランティア等の協働による全国的にも珍しい養蜂事業になります。
- ミツバチを飼育することで生態系の回復に貢献するとともに、こどもたちの自然環境教育にも 活用できます。

◆開始予定

平成27年4月

◆実施場所

区役所本庁舎(防災センター)屋上

養蜂に関する研修の様子



◆実績・背景

中央区銀座では、平成18年3月から「銀座ミツバチプロジェクト」により都市養蜂が開始され、 ハチミツの収穫量は、現在年間1トンを超えます。その江東区版を開始するため、平成26年 5月にプロジェクトを発足、養蜂に関する研修等を実施するなど、準備を進めてきました。

◆他区の状況

区の事業としての養蜂は23区初

長期計画の該当項目:計画の実現に向けて(2) スリムで区民ニーズに的確に対応した行財政運営

担当課:区民課窓 口:2階2番

電話:3647-8459 内線:2519

>4-3 不燃ごみ資源化事業

埋立て処分は「もったいない」!

不燃ごみを資源物としてリサイクル

不燃ごみを資源に変身させ、持続可能な循環型社会を形成します

新たな取り組み

事業経費

1億2,442万円

◆事業内容

区が各家庭から収集し、東京港の最終処分場へ埋立て処分している「不燃ごみ」を資源物としてリサイクルする事業を、3年間を目途に試行実施します。

◆目的

持続可能な循環型社会を形成するため、これまで埋立て処分していた不燃ごみを資源化することで、最終処分場の延命化とリサイクル率の向上を図ります。

◆効果

不燃ごみのほぼ全量が資源物としてリサイクルされるため、不燃ごみの埋立処分量をゼロにまで削減することが期待できます。

◆実績・背景

- ○区が各家庭から収集しているごみ量は、平成21年度以降横ばい傾向が続きましたが、平成25年度は前年度比で増加に転じました。今後も大幅な人口増加が見込まれるため、ごみの減量を進めることが困難となっています。
- ○23区全体の最終処分場へのごみの埋立量は、実績量が計画量を上回っており、最終処分場の延命化を図るうえで、埋立量の削減が強く求められています。

◆開始予定

平成27年4月

◆他区の状況

足立区で実施



最終処分場(中央防波堤埋立処分場)

長期計画の該当項目:施策4 循環型社会の形成

担当課:清掃リサイクル課

口:防災センター6階4番

電話:3647-9181

小学生が描いたポスターコンクール区長賞受賞作品を活用

地下鉄駅階段にポイ捨て・歩行喫煙防止の啓発シートを設置

駅利用者へ「きれいなまち・江東」を呼びかけます

事業の拡充

事業経費

26万円

◆事業内容

環境美化対策の一環として、地下鉄駅の出入口階段に、「みんなでまちをきれいにするポスターコンクール」の平成26年度区長賞受賞作品を印刷した啓発シートを設置します。 (小学生高学年の部・低学年の部各1点)

◆目的

ポスター掲出により啓発を強化することで、効果的にタバコのポイ捨て、歩行喫煙防止を呼びかけ、特にこうした迷惑行為の多い駅前の安全・美化の推進を図ります。

◆効果

- 通勤者の多い駅階段に、目立つ啓発物を設置することで、より多くの人への啓発が期待できます。
- 小学生が描いたポスターを活用することで、ポイ捨て等をしようとする人の視覚・心理に強く 訴えかけます。

◆開始予定

平成27年5月

◆実施場所

東陽町駅(予定)



階段広告イメージ



◆実績·背景

区内のポイ捨て・歩行喫煙は改善傾向にありますが、未だにルールやマナーを守らない人が見受けられ、その対策に苦慮している状況です。

そのため、ポイ捨て・歩行喫煙の防止に向けた啓発を強化する必要があります。

長期計画の該当項目:施策29 住みよい住宅・住環境の形成

担当課:環境保全課

窓口:防災センター6階5番

電話:3647-9373

豊洲シビックセンターの整備①

区南部地域の拠点となる「豊洲シビックセンター」を開設

出張所・文化センター・図書館等の複合施設

事業の拡充

	2 7 年度	5億6,061万円
事業経費	総事業費	119億3,343万円

◆事業内容

豊洲駅前に出張所、文化センター、図書館等の施設を備えた区南部地域の公共・文化施設の拠点となる複合施設「豊洲シビックセンター」を開設します。

◆特色

- 建物周囲や壁面だけでなく、8階から屋上にかけて階段状に樹木を植え、里山をイメージ した、連続した豊かな緑化空間を設けます。
- ○太陽光パネルや雨水利用の機能などを備え、高水準の環境性能を有する施設となります。

平成27年9月24日

◆建物の概要

開設日

所在地			豊洲二丁目2番18号	
敷地面積			約3,300㎡ (延床面積 約15,500㎡)	
	階	数	地上12階、地下1階	豊洲シビックセンター(完成イメージ)
施設	3階	出張所	○ 戸籍やこども関係の手続きなど、業務を拡充○ 開庁時間を区役所本庁舎同様、毎週水曜日午後7時まで延長、また毎月第3日曜日(3月は第4日曜)に日曜窓口(一部窓口を除く)を開設○ 機能拡充に伴い、名称を「豊洲特別出張所」へ変更	
		長寿サポート センター	高齢者の福祉に関する総合的な相談窓口(地域包括支援セン ター)	
	4~8階	文化センター	○ 外の景色が見える開閉パネルを備えた300席のホールを整備○ サブ・レクホール、音楽練習室を新設するほか、研修室を8室備えるなど、施設を拡充	
	9~11階	図書館	○ 蔵書を増やすとともに、自由なスタイルで読書が楽しめる 幼児のためのキッズコーナー、乳幼児を対象とした遊び と読書の「おはなしのへやキッズ」を配置○ 自動貸出返却や予約資料の自動受取システムを導入	
	2階 地下1階	防災倉庫	災害時における食料・衣類等の応急 保管	物資や災害復旧資機材を

長期計画の該当項目:計画の実現に向けて(2) スリムで区民ニーズに的確に対応した行財政運営

担当課:区民課·港湾臨海部対策担当

電話: 【区民】3647-8459【港湾】3647-9168 内線: 【区民】2519 【港湾】2115

窓 口: 2階2番・4階1番

豊洲シビックセンターの整備②

豊洲出張所の取扱業務を拡大、区民の利便性向上

戸籍届出受付、児童手当・子ども医療費申請受付、保育園入園相談を開始

新たな取り組み

事業経費

出張所管理運営事業(取扱業務の拡大等)1,796万円

出張所管理運営事業(フロアマネージャー) 657万円

◆事業内容

- 豊洲シビックセンター内に出張所取扱業務を拡大した、豊洲特別出張所を開設し、業務 効率化のため窓口業務の一部を委託します。
- 外国語(英語・中国語)対応可能なフロアマネージャーを導入し、来庁した区民等に対する 窓口案内及び各種申請の補助業務を行います。

◆目的

- ○子育て世代の多い豊洲地区の特性を踏まえ、取扱業務を拡大(新たに戸籍業務、こども 関係手続等を追加)することで、利便性の向上を図ります。
- 外国人を含め、多くの来所者が見込まれる豊洲特別出張所にフロアマネージャーを配置することで、待ち時間の短縮、きめ細かな窓口誘導や申請書の記載案内等、区民サービスの向上を図ります。

◆特色

- ○出生届や婚姻届等の戸籍の届出、児童手当の申請、保育園の入園相談を身近な出張所で できるようになります。
- ○窓口業務の一部(住民異動届等の入力業務)を委託することにより、事務処理の迅速化を 図り、待ち時間の短縮と質の高い区民サービスを提供することが可能となります。

◆場所

豊洲特別出張所(豊洲シビックセンター3階)

◆豊洲地区の人口推移

	2007年 (1月1日現在)	2015年 (1月1日現在)	増減率
区内人口	422,993人	493,952人	16.8%
豊洲地区の人口	69,851人	107,843人	54.4%
豊洲地区の 外国人の人口	455人	6,711人	1374.9%



フロアマネージャーイメージ (区役所本庁舎)

長期計画の該当項目:計画の実現に向けて(2) スリムで区民ニーズに的確に対応した行財政運営

担当課:区民課 電話:3647-8406

窓口:2階2番 内線:2511

豊洲シビックセンターの整備③

機能を拡充して豊洲図書館を整備

こどもから大人、外国の方も親しめる図書館へ

新たな取り組み

事業経費	豊洲図書館改築事業	8,022万円
	図書館管理運営事業	1,270万円

◆事業内容

- 平成27年9月開設の豊洲シビックセンターに移転する豊洲図書館において、所蔵する資料 を充実させるとともに、フロアマネージャーの配置等の新たなサービスを導入します。
- ○地域との連携により、乳幼児からのこどもの読書活動を支援します。

◆目的

地域の発展を踏まえ、知の情報ステーションとしての役割と生涯学習活動支援を行います。

◆豊洲図書館概要

所	在地	豊洲シビックセンター 9~11階		
蔵	容量	18万冊(移転前:11.5万冊)]	
床	面積	約1,900㎡ (移転前:約1,100㎡)		
	9階	静かな環境の一般のフロア(療養支援や	・子育て支援コーナーを設置)	
施設	10階	自由なスタイルで読書ができる児童とティーンズのフロア		
	11階 (一部)	読書と遊びが楽しめるキッズのフロア (乳幼児を対象とした遊びと読書の「おはなしのへやキッズ」を配置)		
特色	○ 木かげ読書が楽しめる屋外テラス○ フロアマネージャーを設置(区内2か所目)※豊洲特別出張所とは別○ 公募ボランティアによるこどもの読書支援を実施○ 自動貸出返却や予約資料の自動受取システムを導入(区内2か所目)			







9階イメージ

10階イメージ

11階イメージ

長期計画の該当項目:施策18 地域で参加・還元できる生涯学習・スポーツの推進

担当課:豊洲図書館 電話:3536-5931 水彩都市・江東のシンボルスポーツ "カヌー振興"

2020年東京パラリンピックに江東区出身のカヌー選手を輩出

区民の誰もが気軽にカヌーに親しめる環境を整備

新たな取り組み

事業経費

598万円

◆事業内容

- ○2020年東京パラリンピックにおいて区内で実施されるカヌー競技に、江東区出身の選手を 区と地域の連携により輩出します。
- ○内部河川等を利用して、障害者向けのカヌー体験教室を実施します。

◆目的

2020年東京パラリンピックの中心地として、障害者スポーツの普及促進・パラリンピックムーブメントの推進を図ります。

◆特色

水彩都市・江東を体現するスポーツ「カヌー」で、地元出身のパラリンピアンの輩出を 目指す区市町村レベルでは稀有な挑戦です。区と地域が連携して選手の発掘・育成に つとめ、2020年東京パラリンピックにおいて、カヌー競技での金メダル獲得を目指します。

◆効果

障害者スポーツへの区民の理解を深め、身近に感じてもらうと共に、地元出身選手の活躍に夢と希望を抱くことができます。

◆実施場所·対象者

	パラリンピック選手の輩出	障害者カヌー教室
場所	旧中川ほか	亀戸スポーツセンター、旧中川
対象	区内在住•在学•在勤者	小学生以上 5名程度



瀬立モニカ選手

◆現在パラリンピックを目指して活動中の選手

氏名	年齢	所在	平成26年日本パラカヌー選手権大会成約
瀬立モニカ (せりゅうもにか)	17歳	江東区白河在住	女子PWK-1 TAクラス 1位
諏訪正晃 (すわまさあき)	29歳	江東区亀戸在住	男子PK-1 TAクラス 1位



◆カヌー環境の更なる整備

諏訪正晃選手

電話:3647-4894

城東地区に続き、深川地区でも気軽にカヌーに親しめる環境整備のため、黒船橋(門前仲町〜牡丹)にカヌー乗り場と艇庫を整備します。

◆他区の状況

窓

区が独自にパラリンピック選手輩出に取り組んでいる事例はなし

長期計画の該当項目:施策18 地域で参加・還元できる生涯学習・スポーツの推進

担当課:スポーツ振興課

口:4階34番 内線:3377

2020年東京オリンピック・パラリンピックへ向けて運動施設を拡充

新砂運動場に新たなサッカー場を整備

東京都下水道施設の上部を有効利用

新たな取り組み

 事業経費
 27年度
 994万円

 総事業費
 15億5,339万円

◆事業内容

- 東京都の下水処理施設である砂町水再生センターの施設拡張に伴い、拡張部分の上部に 新たにサッカー場を新設します。
- ○テニス場などの既存の運動施設についても改修工事を実施します。

◆目的

サッカー場の新設と老朽化施設の改修工事の実施により、区民が運動に親しめる環境の充実を図ります。

◆特色

新設するサッカー場は、全国的規模の大会と同様のフィールドサイズ(105m×68m)を有し、同規模のフィールドは、区施設では夢の島競技場に続く2つ目の整備となります。

◆効果

施設の拡充により運動機会の増加とスポーツ実施率の向上が図られるほか、区立中学校 女子サッカー部など、本区部活動の更なる振興が期待できます。

◆スケジュール

平成27年度 : 実施設計 平成28·29年度: 施工·開設

◆新砂運動場

所在地	新砂3-9-1(砂町水再生センター内)	
開設年月	昭和62年12月	
施設	○サッカー場 2面 (ソフトボール場4面と兼用)○多目的運動広場 1面○テニス場 4面○ターゲットバードゴルフ 9ホール	
利用実績	年間約10万人	
備考	浄化施設の屋上を利用した運動場	



新砂運動場で試合をする 区立中学校女子サッカー部

長期計画の該当項目:施策18 地域で参加・還元できる生涯学習・スポーツの推進

担当課:スポーツ振興課

窓 口: 4階34番

電話:3647-4887

内線:3372

早朝・夜間・休日でも発行可能に

個人番号カードを利用した各種証明書のコンビニ交付を開始

全国4万か所以上で各種証明書が取れるようになります!

新たな取り組み

電子計算事務 4,644万円 事業経費 証明書自動交付サービス事業 273万円

◆事業内容

平成28年1月導入予定の個人番号カードを利用して、全国4万か所以上のコンビニエンス ストアで早朝・夜間・休日でも住民票の写し、印鑑登録証明書、課税・非課税証明書の取得を 可能にします。

◆目的

最も身近な民間施設の一つであるコンビニエンスストアのマルチコピー機で、住民票の写し 等の証明書の取得を可能にすることによって、住民の利便性向上を目指します。

◆効果(証明書自動交付機との比較)

〇利便性

	証明書自動交付機	コンビニ交付
利用場所	区内16か所 ※設置場所:区役所や出張所など	区内約190か所(全国約4万か所) ※対象店舗:セブンイレブン、ローソン サークルKサンクス、ファミリーマート
利用時間	8:30~21:00 ※終了時刻は場所によって異なる	6:30~23:00 ※全国一律、休日も利用可能

○コスト(※証明書の交付枚数を30万枚で想定)

	証明書自動交付機	コンビニ交付
証明書1枚あたりの 費用	約300円	約140円

※人件費は含まず、リース料などのランニングコストから算出

◆開始予定

平成28年1月下旬





コンビニ交付(イメージ)

長期計画の該当項目:計画の実現に向けて(2) スリムで区民ニーズに的確に対応した行財政運営

担当課:区民課・情報システム課

電話:【区民】3647-3164【情シス】3647-2922 内線:【区民】2534 【情シス】6111 口:2階4番・防災センター5階

中小企業の若手人材・労働力確保を支援

(仮称)こうとう若者・女性しごとセンターを開設

自分に合った「地域の中小企業」で働こう

新たな取り組み

事業経費

1億1,208万円

◆事業内容

- ○区内中小企業の人材確保と区民等の就職活動を支援するための拠点「(仮称)こうとう若者・ 女性しごとセンター」を開設します。
- 既卒者を対象とした「中小企業若者就労マッチング事業」に加え、新たに新卒予定者や出産 育児により離職した女性等を対象に、区内企業へのマッチング・各種就労支援を行います。

◆目的

区内の中小企業が求める人材・労働力を確保することにより、企業内の活性化、事業の拡大に資すると同時に、区民の就労支援を図ります。

◆特色

- 求人開拓員やキャリアカウンセラーが、個別に対応し、企業の求人と求職者の希望を マッチングさせます。
- 就職希望者及び事業主に対する研修・カウンセリングを実施し、スムーズな就労、就職 後の人材定着支援を行います。

◆対象・支援内容

新規	新卒予定者	平成28年3月卒業予定の学生に、研修や合同会社説明会等を実施し、区内企業への 就職へつなげる
新規	育児後の 女性等	キャリアカウンセリング等の後、個々の希望・能力を考慮し、区内企業とマッチングを行う
新規	求職者	区内企業にマッチングさせるための相談や研修を実施する
既存	既卒者	ビジネス研修を実施後、区内企業とマッチングを経て就業実習を行い、正規就労へ導く

◆開設場所

◆開始予定

カメリアプラザ9階(亀戸2-19-1)

平成27年10月1日



◆実績·背景

企業アンケートでは、求める人材の確保が困難といった回答が多い。一方、採用の機会が 少ない小規模企業では早期離職者が顕在化しています。

中小企業若者就労マッチング事業実績		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
中小企業	企業数·求人数	90社・170人	109社・227人	140社・359人	100社・202人
	研修生	41人	40人	40人	30人
既卒者 (30歳まで)	就業実習者	41人	39人	40人	28人
(30/13/45/07)	正規就職者	30人	27人	33人	_

長期計画の該当項目:施策14 区内中小企業の育成

担当課:経済課 電話:3647-2331

窓口:4階30番 内線:2434

生きづらさを抱える若者へ支援の手を

ニート・ひきこもり等の若者を支援する相談事業を本格的に実施

青少年センターで専門家による相談窓口を開設

新たな取り組み

事業経費

106万円

◆事業内容

ニート・ひきこもり等の若者が抱える問題について、本人及び家族を対象とした相談窓口を 開設し、専門の相談員が月に2回、電話・面談による相談を受けます。

◆目的

ニート・ひきこもり状態にある若者の自立・社会参加を支援し、最終的には就労支援機関へ つなげる手助けをします。

場所 江東区青少年センター(亀戸7-41-16) 他	_
100 A	
開設時期 平成27年4月	
開設時間 原則 月2回、14時~18時 ひきこもり等支援講演会の様子	7.
対象者 区内在学・在住・在勤の概ね15歳から35歳までの方及びその保護者	
その他 一青少年センター以外の区内施設でも出張相談会を実施し、相談者の方の利便性に応えます。一社会へ参加するためのステップとしての居場所運営や、家族同士で問題を共有できる家族交流会の開催等も行います。	

◆実績・背景

平成26年度は試行的に年15回相談会を実施。平成27年1月末時点で51人が参加しました。 内閣府調査(平成22年)によると、人口当たりのひきこもりの割合は $1.79\%(15\sim39歳)$ で、 江東区は概ね2,700人(15~39歳)と推定されます。

◆他区の状況

世田谷区、足立区、杉並区、練馬区等で実施

長期計画の該当項目:施策13 地域の人材を活用した青少年の健全育成

担当課:青少年課青少年センター 電話:3681-7334

平成26年度協働事業提案制度 採択事業

地域の課題を区と協働で解決

江東区内ことばの道案内作成・提供&江東区内「だれでもトイレ」の詳細情報の調査

事業の拡充

事業経費

375万円

◆事業内容

市民活動団体(町会・自治会、NPO、ボランティア団体等)と区が協力して、地域課題の解決に取り組むため、協働事業提案制度で採択された2事業を実施します。

◆目的

採択事業の実施を通じて、地域へ協働に対する理解を広め、市民活動団体の柔軟な発想や専門性を公共サービスに取り入れる仕組みを推進します。

◆採択事業

事業名	江東区内ことばの道案内作成・提供事業	江東区内「だれでもトイレ」の詳細情報の調査
提案 団体	NPO法人 ことばの道案内	NPO法人 東京バリアフリーツアーセンター
目的	視覚障害者及び視力の衰えた高齢者 等のより安全な外出を支援し、社会参加 を進めます。	江東区内における「だれでもトイレ」の詳細 情報を調査、提供することにより、障害者の 外出時の不安を減らします。
内容	公共施設への行き方を言葉で説明する「ことばの道案内」を作成し、音声対応 したインターネット環境で提供します。	区内の公園、駅、商業施設に設置されている「だれでもトイレ」を障害者当事者が調査し、 その情報を分かりやすい形に再構築し、提供 します。
担当課	障害者支援課	まちづくり推進課

◆過去3年間の採択事業

採択年度	採択事業
平成23年度	○ こうとうむかしばなし事業○ 公園を通した地域コミュニティ形成活動事業~区民がつながり守り育てる公園づくり~
平成24年度	○ 家庭訪問型子育て支援事業
平成25年度	○ こども読書活動に関わる人材育成○ 江東区内災害時、歩行困難者・避難所のバリアフリー調査
※事業は、採択された翌年度に実施	

長期計画の該当項目:施策17 コミュニティの活性化

担当課:地域振興課 電話:3647-8570

窓口:4階26番 内線:2443

資料編

1 歳入・歳出の内訳

【一般会計(歳入・歳出)対前年度比較】

[2	区 分	•	平成27年度	平成26年度	増減額	増減率 (%)
歳		入	1, 767 億 6, 900 万円	1,743億1,900万円	24億5,000万円	1. 4
区税	等(一般則	排)	1, 115 億 8, 800 万円	1,050 億 8,000 万円	65 億 800 万円	6. 2
国 •	・都支出	金	410 億 2,800 万円	416 億 9,000 万円	△6 億 6,200 万円	△1.6
繰	入	金	103 億 9, 200 万円	143 億 2, 400 万円	△39 億 3,200 万円	△27. 4
特	別区	債	9 億 4, 300 万円	23 億 3,800 万円	△13 億 9,500 万円	△59. 7
そ	の	他	128 億 1,800 万円	108 億 8, 700 万円	19億3,100万円	17. 7
歳		出	1, 767 億 6, 900 万円	1,743億1,900万円	24 億 5,000 万円	1. 4
人	件	費	291 億 6, 500 万円	290 億 3, 600 万円	1億2,900万円	0.4
扶	助	費	575 億 500 万円	537億5,100万円	37億5,400万円	7.0
公	債	費	29 億 7, 300 万円	23 億 7, 700 万円	5億9,600万円	25. 1
普通	建設事業	美費	184 億 600 万円	251 億 7, 500 万円	△67億6,900万円	△26. 9
積	立	金	34億6,100万円	9億3,100万円	25 億 3,000 万円	271. 9
物件	費・補助領	費等	465 億 6, 500 万円	446 億 8, 900 万円	18億7,600万円	4. 2
そ	の	他	186 億 9, 400 万円	183 億 6, 000 万円	3億3,400万円	1.8

<歳入の特徴>

- ◇区税等(一般財源)は、対前年度比6.2%の増。 (地方消費税交付金や特別区税の増などによる)
- ◇国・都支出金は、対前年度比1.6%の減。 (社会資本整備総合交付金の減などによる)
- ◇繰入金は、対前年度比27.4%の減。 (公共施設建設基金の減などによる)

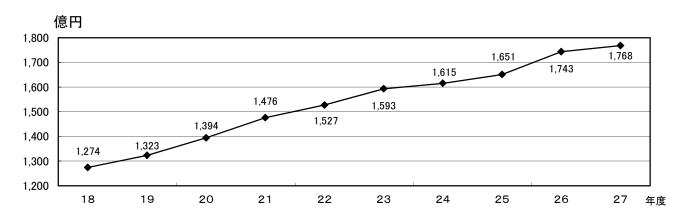
<歳出の特徴>

- ◇人件費は、対前年度比0.4%の増。 (国勢調査の実施に伴う調査員報酬の増などによる)
- ◇扶助費は、対前年度比7.0%の増。 (私立保育所運営費や児童手当支給の増などによる)
- ◇普通建設事業費は、対前年度比26.9%の減。 (豊洲シビックセンター整備の減や豊洲西小学校整備の皆減などによる)

2 各項目の推移

2-1 一般会計(予算規模)の推移

27 年度 1,767 億 6,900 万円



◇一般会計の予算規模は、前年度比1.4%の増。

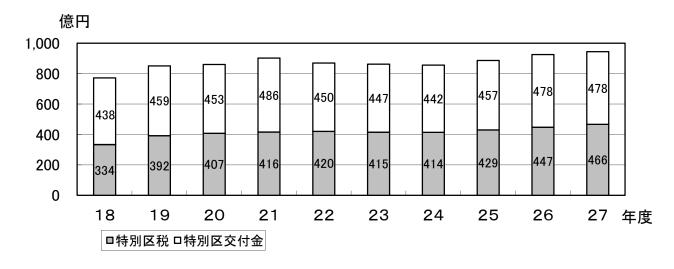
2-2 歳入(特別区税と特別区交付金)の推移

27 年度 区 税 466 億 3,100 万円 交付金 478 億 1,600 万円

(単位:億円/当初予算ベース)

年度	18	19	2 0	2 1	2 2	2 3	2 4	2 5	2 6	2 7
区税	334	392	407	416	420	415	414	429	447	466
交付金	438	459	453	486	450	447	442	457	478	478
合計	772	851	860	902	870	862	856	886	925	944
構成比	60. 6	64. 3	61. 7	61. 2	57. 0	54. 1	53.0	53. 7	53. 0	53. 4

構成比=特別区税と特別区交付金の合計額が、歳入全体に占める割合(%)

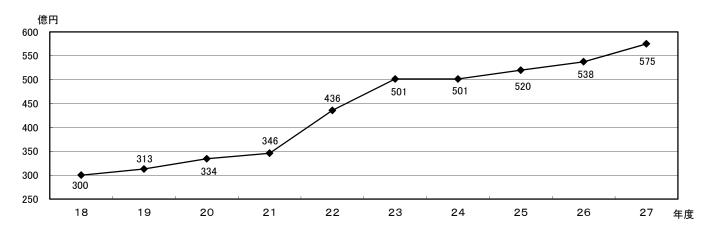


◇区の基幹的な歳入である特別区税と特別区交付金の合計額は、944億円。 特別区税が増加したことにより、一般会計に占める構成比は53.4%となった。

2-3 歳出の推移

(1) 扶助費(生活保護費や児童福祉費など)

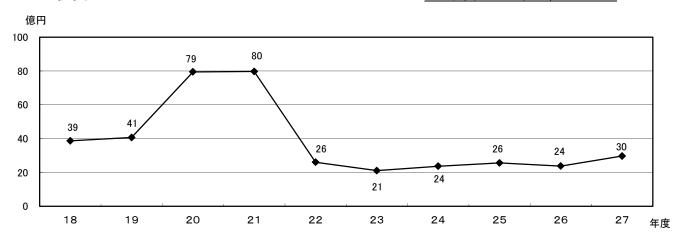
27 年度 575 億 500 万円



◇私立保育所運営費や児童手当支給の増などにより、7.0%の増となった。

(2)公債費

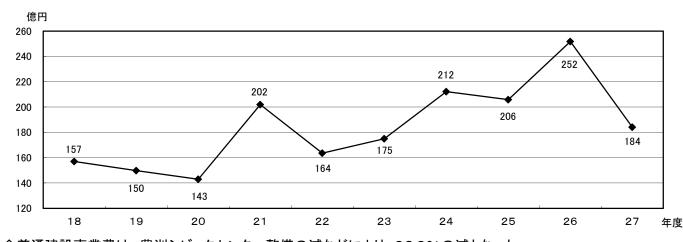
27 年度 29 億 7, 300 万円



◇公債費は、元金の増により、25.1%の増となった。

(3)普通建設事業費

27 年度 184 億 600 万円



◇普通建設事業費は、豊洲シビックセンター整備の減などにより、26.9%の減となった。

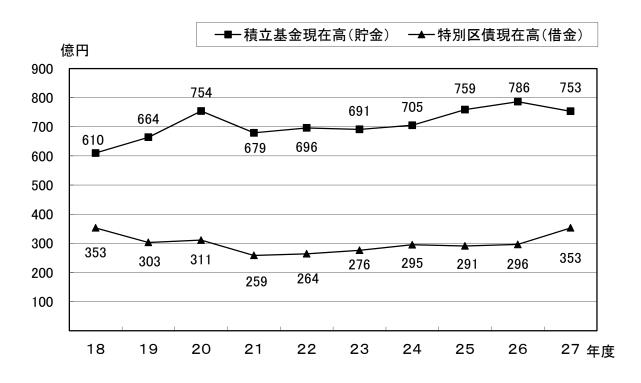
2-4 積立基金と特別区債の現在高の推移

27 年度末 積立基金 752 億 6,700 万円 特別区債 352 億 8,800 万円

(単位:億円)

年度	1 8	1 9	2 0	2 1	2 2	2 3	2 4	2 5	2 6	2 7
積立基金 (貯金)	610	664	754	679	696	691	705	759	786	753
特別区債 (借金)	353	303	311	259	264	276	295	291	296	353

- *平成18年度から平成25年度までの金額は、決算額。
- *平成26.27年度の金額は、年度末見込み額。
- *上記積立基金には、介護保険関連基金は含まれていない。



◇平成27年度は、年度間の財源調整を図るため、財政調整基金25億円、公共施設の改修や新たな施設整備のため、公共施設建設基金35億円、小学校の改築工事などに充てるため、学校施設改築等基金31億円など、109億円の基金を活用する。

3 歳出の抑制

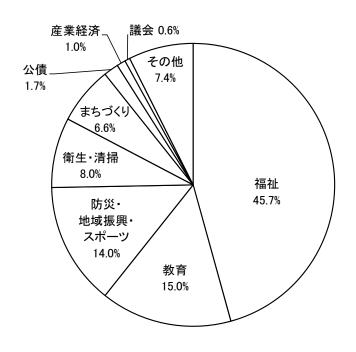
事業の見直し等による削減額………2億1,100万円

事	業の見直しもしくは廃止した事業	2億1,100万円
	小・中学校用務及び警備の委託化	9, 400万円
	緊急雇用創出事業の見直し	2, 100万円
	IT パークこうとう及び K-NET の廃止	1, 900万円
	ごみ収集運搬の見直し	1, 400万円
	自転車駐車場の管理運営方法の見直し	1, 100万円
	公園管理業務の一部委託化	900万円
	図書館窓口業務の委託化拡大	700万円
	江東区エコポイント制度試行期間の終了	600万円
	保育園給食調理業務の委託化	400万円
	がん対策推進事業の事業展開の見直し	400万円
	その他の見直し及び廃止	2,200万円

4 区民一人あたりの平成27年度歳出予算額

【区民一人あたりの歳出予算額の内訳】

目的	費目	金額	構成比
高齢者や子育て支援など福祉施策に	民生費	163,544 円	45.7%
学校教育や図書館などに	教育費	53,722 円	15.0%
防災対策や地域振興、スポーツ振興などに	総務費	50,233 円	14.0%
健康診断や保健所運営、環境・清掃事業に	衛生費	28,687 円	8.0%
道路・公園の整備やまちづくりに	土木費	23,479 円	6.6%
特別区債の償還に	公債費	6,025 円	1.7%
商工業や観光の振興、消費者保護などに	産業経済費	3,636 円	1.0%
議会の運営のために	議会費	1,983 円	0.6%
その他	他会計への繰出金等	26,558 円	7.4%
合計	357,8	67円	



【参考】*区民一人あたりの特別区民税: 85,999円(平成27年度当初予算)

*人口: 493, 952人(平成27年1月1日現在、住民基本台帳調)



平成27年2月4日 政策経営部 広報広聴課 報道係 03-3647-2363 (直通)